

こたえ ねずみのよめ入り

ひょうじゅん 標準 ①

ねずみのよめ入り

(日本の昔話)

昔、ある屋敷やしきのうらに、ねずみの親子がすんでいました。むすめのチュウ子は、氣立てのよいねずみでした。

「世界で一番強いむこをさがしてやろう。」

お父さんとお母さんはそう考えて、まずお日様のところへ出かけました。

「お日様、あなたは世界で一番強い方です。どうか、むすめのむこになってください。」

すると、お日様は①首をふりました。

「わたしより強いのは雲さんだよ。雲が出ると、わたしの光はかくされてしまうからね。」

そこで雲のところへ行くと、雲は言いました。

「わたしより強いのは風さんさ。風にふかれると、わたしはどこかへ飛ばされてしまう。」

風のところへ行くと、風は答えました。

「わたしより強いのは、かべさんだ。どんなにふいても、かべだけはびくともしない。」

最後にかべをたずねると、かべはこまった顔で言いました。

「いやいや、わたしより強いのはねずみさんですよ。ねずみにかじられたら、わたしにはあながあいてしまいます。」

②親子は顔を見合わせました。

「なんだ、一番強いのは、わたしたちねずみだったのか。」

こうしてチュウ子は、近くにすむ働き者のねずみのおよめさんになりました。

1 親子がたずねた順に、まずに合う言葉を書きましよう。

お日様

雲

↓

風

↓

か

べ

2 ①とありますが、お日様がむこになるのをこわったのはなぜですか。

雲が出ると、自分の光がかくされてしまうので、雲のほうが強いの思

ったから。

3 風がかべを強いと考えたわけを、本文から十二字で書きぬきましよう。

か べ だ け は び く と も し な い

4 ②のときの親子の気持ちに合うものに○をつけましよう。

ア かべにことわられて、はらを立てている。

イ 一番強いのが自分たちだと知って、おどろいている。

ウ さがすのにつかれて、あきらめている。

5 この話から分かることに合うものに○をつけましよう。

ア 体の大きなもののほど、強い。

イ どんなものにも、それぞれ強いところがある。

ウ 遠くにいるものほど、えらい。

おうちの方へ

- 2は「雲のほうが強いのから。」でも正解です。文末を「～から。」「～ので。」で結んでいるかを見てください。
- 文章は、昔話をもとにこのプリントのために書きおろしたものです。